

<報道提供>

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について

(7月4日 20時00分現在)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点（海岸から約2km上流）から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

県では自衛隊等の派遣を要請するとともに、難波副知事が現地に向かい被害状況の把握を行っている。

2 県災害対策本部の活動状況

- 3日11:45 熱海において土石流発生、家が流されているとの一報
- 12:00 県災害対策本部を設置
- 12:00 知事から自衛隊に派遣要請
- 12:45 第一回本部員会議
- 13:08 東部地域局職員2名を熱海市役所へ派遣
- 13:30 知事から消防庁に緊急消防援助隊の出動要請
- 13:40 難波副知事が現地へ向け出発
- 15:00 危機管理部職員2名を熱海市役所へ派遣
- 15:30 災害救助法施行令第1条第1項第4号の適用を公示
- 16:15 第二回本部員会議
- 4日06:00 (自衛隊、消防、警察救助活動再開)
- 16:00 第三回本部員会議
- 18:00 (自衛隊、消防、警察救助活動中断)
- 5日06:00 (自衛隊、消防、警察救助活動再開予定)

3 人的・物的被害の状況

(1) 人的被害

安否不明者：20名は初動の数字であるが、正確な人数の把握が困難。このため、住民基本台帳ベース（215人のうち現在確認できている人は68人）で、確認できていない人数（147人）をローラー方式で一人一人確認していき、随時リバイスしていく方針。

死者：2名（女性2名）

救出者：23名（男性11名、女性12名）

うち、負傷者2名（軽傷1名、重傷1名）

避難者：561名

(2) 物的被害

被害棟数：約130棟（127世帯、215名）

4 関係機関の派遣状況

○自衛隊

所属	人数
陸上自衛隊	248名
航空自衛隊	50名

○消防

消防機関の活動概況

20:00現在

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	静岡市消防局 指揮支援隊	1 隊 6 名	熱海市消防本部で活動中
	静岡県大隊	約 40 隊 (約 160 名)	逢初川土石流発生箇所 (右岸) 上流から下流 に向けて活動中 自衛隊合同
県外	横浜市消防局 統括指揮支援隊	1 隊 7 名	静岡県庁で活動中
	東京都大隊	約 80 隊 (約 330 名)	逢初川土石流発生箇所 (左岸) 上流から下流 に向けて活動中 警察合同
	神奈川県大隊		逢初川土石流発生箇所 (右岸) 上流から下流 に向けて活動中

- ・ 熱海市消防本部85名・熱海市消防団30名 活動中
- ・ 逢初川（あいぞめがわ）

右岸：下流に向かって右側（南西方向）

左岸：下流に向かって左側（北東方向）

・ 活動開始（06:00）新幹線北側を重機等活用し重点検索予定。

○海上保安庁

3日13:20 下田海保、伊東支署巡視艇ポラリス 出動

13:50 巡視船ポラリス 伊豆山沖到着 民船3隻と捜索中

14:00 漁港内2名発見報告（海保・熱海）

14:50 海保巡視船おきつ伊豆山沖出発

15:20 おおすみ横浜出発、かの下田出発、いずなみ活動中

4日06:00 3隻（おおすみ、かの、おきつ）が捜索中（終夜
捜索）、2隻（ポラリス、いずなみ）が合流

09:00 6隻（おおすみ、かの、おきつ、ポラリス、いず
なみ、しきね）が捜索中

○国土交通省

部隊	数量	現状
排水ポンプ車	3台	かんぼの宿（熱海別館）待機中
照明車	<u>1台</u>	<u>17:00より上流部にて点灯開始、20:00消灯し現場待機</u>
	<u>3台</u>	<u>かんぼの宿（熱海別館）待機中</u>
	<u>1台</u>	<u>19:50国道135号にて点灯開始</u>
衛星通信車	1台	6:00より配信開始
災害支援車	1台	熱海土木へ配置済み
ドローン班	4人	<u>4:05～5:50、9:40～10:00、 13:00～14:10 現地撮影</u>
TEC（砂防班①）	4人	<u>9:15～14:20 現地調査</u> <u>熱海市長、静岡県副知事へ土 砂災害専門家より報告（立会）</u>
TEC（砂防班②）	4人	9:15～10:00 現地調査 <u>13:00～14:05 現地作業</u>
TEC（総括班）	4人	<u>9:30～14:30 国総研と現地調 査（同行）</u>
TEC（港湾班）	2人	6:00～9:50 現地調査完了

○交通基盤部

3日 ドローンによる現地調査を実施

4日 崩落箇所や土石流の流下状況を確認

5日 引き続き調査を実施

○警察

- ・本日午前6時から県機動隊、管区機動隊、広域緊急援助隊（警視庁、三重、新潟）が現地にて捜索実施。
- ・広域緊急援助隊交通部隊等16人は、交通規制を5カ所、交通情報収集（オフロードバイク）を3台で実施。
- ・安否確認班20人、遺体収容運営班44人及び機動通信班として通信対策を行う14人がそれぞれの対策を実施。

所属		人数
警視庁		169人
新潟県		37人
三重県		24人
静岡県	県機動隊	37人
	管区機動隊	105人

○静岡地方气象台

- 3日 19:00 熱海市役所着、危機管理課長に挨拶
- 20:30 中部地方整備局に明日の天気を解説
- 21:00 危機管理課職員に明日の対応などを情報収集
- 4日 05:30 市災害対策本部で業務開始
- 07:00 市災対会議出席し天気を解説
- 08:00 気象支援資料（天気図、キキクル）を災対本部室に紙ベースで掲示
- 09:15 総務省消防庁職員（LO）に気象解説
- 13:00 市災対会議出席

○DMAT

国際医療福祉大学熱海病院、熱海保健所、県庁に、県内災害拠点病院から計6チームが参集し活動中

○その他

国土交通省国土技術政策総合研究所による現地調査を7月4日から5日まで実施